

田沼

新聞

25号

稲毛区

媚びない政治、ブレない政治、伝える政治

千葉維新会・田沼隆志

（千葉市議会では一人の保守系無所属）

議会報告



●志一本で、政治の体質を変え、千葉市を立て直す！

平成23年もよろしくお願ひ致します。今年はいよいよ戦いの年です。依然、日本の政治は混迷を深めています。民主党は内紛ばかり。また政策が違って連立しようとしたり、入閣させたり。すべては政策がそろっていない、つまり理念がない政党ゆえです。日本は各分野で抜本的改革が必要なのに、全く対応できていないのは、尖閣諸島対応や消費税論議を見ても一目瞭然。一刻も早く改善しなければ日本が沈没してしまう… 焦りが募ります。

政治の流れを変えるには、選挙結果で、政権に反省を促さなければなりません。そして国政選挙は、今後数年間はない予定。ゆえに**今回の統一地方選は、地方の政治を変えると同時に、国の政治を変えるための、重要な機会**でもあります。国の未来を思う皆さん、民主党政権に反対する皆さんの、ご参加をお願いします。

私は1年半前、議長逮捕をうけての補欠選挙で「政治の体質を変える！」と訴え、市議会に送って頂きました。「媚びない政治」「ブレない政治」のもと、無所属の一人会派「千葉維新会」を立ち上げ、頑張ってきました。

中に入ってわかったのは、役所には頑張っている人も多いが仕事のやり方・仕組みにムダが多く、前例踏襲する傾向が強いこと。市の財政は本当に危機的ということ。しかし熊谷市長の取組みは人気取りが先行し、改革は全く不十分なこと。職員の支持もあまり得ていないと感じます。また未来を切り開く教育の再生は待たなしにもかかわらず、新教育基本法の理念は現場に届いていません。

千葉を真に立て直すためには、やはり政治の体質を変えねばならないと、いま改めて思います。これまでの延長のような政治が続いては、決して未来は開けません。かつての侍たちのような、**リスクをおそれず改革をやり抜く、志一本の政治家が、もっと増えなければなりません。**私には地盤も看板もカバンもありませんが、おかしいものはおかしいと、今後もブレずにまっすぐ訴えます。共に戦ってくださる皆さんの、ご理解とご参加を、よろしくお願ひ致します。



●議会質問（1）行政の業務効率化で、財政再建を！

私が選挙でお約束した「民間視点の市役所経営改革」。以前の3月議会で私は、退職者不補充による人件費削減、財政再建を訴えました。同じく、人員削減をするには、業務効率化が必須です。元・経営コンサルタントの視点では、もっと業務を効率化しなければならないのはあまりに当然なのですが、いまだに徹底されません。そこで具体的な業務効率化の方法について、質問・提案をしました。

こんな質問をしました！

- IT** 千葉市のITシステムは、時代遅れで効率が悪く、よって時間もコストもかかる。最新のITシステムを活用し、徹底的な業務の効率化をするべきでは？
- 会計改革** 千葉市の会計制度では、資産の情報がわかるしくみになっているか？ 土地開発公社解散に伴う100億円の債権放棄は防げなかったのか？
- 総合窓口** 松山市のように、大半の問合せを一か所で処理し、サービス向上と効率化ができる、「総合窓口」を区役所でも導入できないか？
- 現場の声** 改革において現場の声は効率化の宝庫。私も前職では「答えは現場にある」のもと、足で現場の声を集めた。しかし千葉市では、区役所などの現場の声が、幹部や本庁に届いていないという話を聞くが？

こんな答弁でした

- 予算次第だが、徐々に取り組み。（田沼：IT化は効率化の宝庫で、現代の業務効率化には必須。すぐやるべき。机の上に書類を積み上げている時代ではありません！）
- 国の定めで、資産情報がわからなくなっている。（田沼：中身の分かるバランスシートがあれば、防げたはず。国の定めと別にでも、情報が把握できるようにすべき！負の遺産が見えなくては話になりません）
- 検討する。（田沼：前向きな答弁に感謝です。ただ、同じ「総合窓口」でも、自治体によってサービス幅が違う。効率化とサービス向上を両立させる改革となるよう、注意を！）
- 区と本庁の間のネットワークを構築し、業務改善に結びつけていくことを検討する。（田沼：模範解答ではなく、本音を集められるよう、信頼関係を作る必要があります。頼みます！）

このように、市はまだまだ改革の余地が大。**市長マニフェストも行革プランも、物足りなく見えて仕方ないです。**改革は、チームを作って改革の責任を明確にし、責任に見合った権限と、有能なリーダーを据えて、他部署にモノを申すことが不可欠です。「各所管でやります」では、絶対に大改革はできない。自分のところを自分で改革はできないのです。つまり**衝突してでも改善する、勇気と本気が必要！**今後も、徹底を求めて参ります。

●議会質問（2）日本を好きになれる教科書を！

私は教育問題をほぼ毎回の議会で取り上げています。なかでも最も大切なのは、日本を好きになれる教育だと考えています。自分につながる先人が立派な人たちだと知り、日本を好きになれば、必ずその子は自己肯定と誇りを持てる。そういう若者が増えれば、日本は必ず立て直せる！そう信じています。私自身がそういう体験をしました。私はこれをやるために、会社を辞めて、議員になりました。それくらい重要だと私は考えています。

そのためにも、日本には立派な先人偉人がたくさんいたということ、ちゃんと記した教科書を、子供たちに届けたい。そこで教科書、特に中学校社会科の教科書について、今の採択の仕組みが適切かどうか、また新教育基本法や新学習指導要領の核心でもある「日本に誇りを持てるか」「歴史に愛情を育めるか」という観点で、質問と提案をしました。

こんな質問をしました！

ある教育委員が「日本に誇りを持つ子供たちを育てられる内容か？というのも、教科書を採択するときの大きな観点。この点もわかる報告書にしてほしい」と述べているが、どう対処するのか？

前回の教科書採択に関わる会議で、当時の指導課長が「歴史に対する愛情を深めてほしい」という請願に対し、「特定の一部のみを特に重視する考えはいかなものか」と述べている。この見解は今も有効か？

現在千葉市で採択されている公民教科書は、尖閣諸島や竹島での主権侵害や中国韓国との外交的衝突の事実などが書かれていない。おかしくないか？

同じく、外国人参政権を推進する、偏った政治的主張を掲げている。これはおかしくないか？

現在千葉市で採択されている歴史教科書は、蒋介石を「チャンチェシー」、孫文を「スンウェン」と読ませている。中学生にこれを求めるのはおかしくないか？

こんな答弁でした

委員の発言は、一定の見識ある重要な意見と認識。報告書のあり方については検討する。（田沼：「日本に誇りを持てるか」という観点は、新基本法、新要領の核心。必ず重視し、正しい教科書を選んで欲しい！）

当時の課長の発言は、「総合的な観点から採択すること」との考えに基づいている。（田沼：「歴史に対する愛情を深める」ことは、特定の考え、一部のみの考えでは全くない。基本法や新要領にも記載されている。正しい歴史から逃げないで！）

国の教科書検定を通過したので、適切に記述されていると捉えている。（田沼：領土問題や外交問題は、国民の関心も高い。「時代に適合する」という教科書採択の基準から考えても、記述されて当然！）

国の教科書検定を通過したので、適切に記述されていると捉えている。（田沼：外国人参政権は、国民で議論が分かれている。慎重に扱うべき。私は反対！）

国の教科書検定を通過したので、適切に記述されていると捉えている。（田沼：中国に偏り過ぎ！）

毎度ながら教育委員会の答弁は、保身的と言わざるを得ません。後ろの3問などは「国が決めた」の一点張り。結局は教育委員会で、使う教科書を1冊に決めるのに、ひたすら自己判断を避けている。自分たちの存在意義を否定しているとすら思います。非常に残念です。正しい教科書を届けるため、今後も戦い続けます。

メールマガジン登録募集中！ ⇒ tanuma@tanuma.info に「配信希望」と送信下さい！

最初で最後の一大イベント！
どなたでもぜひお越しを！

総決起大会 開催！

日時：3月12日(土)18時～(17:30開場)

場所：千葉県青少年女性会館

市の驚きの実態、その立て直しの政策・想いを、ド真剣にお訴えます。全国の首長・議員の同志も応援に。混迷する政治ばかりではなく、挑戦する若者たちもいることを、ぜひご覧下さい。皆様のご参加をお待ちしています！（日本の歌の、ミニコンサートも♪）



千葉市議・田沼隆志



お気軽にご意見をお寄せ下さい！

TEL 043-253-9610 (必ずお返事します)
Mail tanuma@tanuma.info
Blog <http://ameblo.jp/tanuma>
事務所 小仲台4-14-8

- 昭和50年(1975)生 35歳
- 園生幼、小中台南小、小中台中、千葉東高、東京大学経済学部 卒
- 平成21年千葉市議補選にて当選